

欧州印刷業界 NEWS



- powered by drupa -

2013 年 2 号（初夏）

向夏の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

最近の欧州メディアは、ヨーロッパとアジアにまたがるひとつの国を注目しています。それはトルコです。近年、著しい経済成長を見せ、メッセ産業も今後の成長が見込めると有望視する同国は、日本でも報道されているとおり、政府の新たな政策に対し激しい市民運動が行われています。この一連の動きが、トルコの EU に対する立場、そして EU への加盟に影響するであろうことから、欧州の各業界が注視しています。そのようななかお届けする 2013 年・初夏号では、下のテーマを取り上げたいと思います。

- トренд・・・ハイブリッド印刷、メディア企業の新戦略
- 業界・企業ニュース・・・新たな協力関係の模索と業界再編の可能性
- メッセ情報・・・drupa 新統括部長の来日決定、会議『Functional Printing China』など

では、ぜひ最後までご覧ください。

第 1 部：トレンド

トレンド 1：ハイブリッド印刷

印刷・メディア業界メッセでは、『ハイブリッド印刷』がますます重要なトピックとして取り上げられています。それは、《ハイブリッド・ソリューション》が多くの企業にとってビジネス拡大と付加価値創造につながる、と考えられているからです。

近ごろ話題をさらっているのは、コニカミノルタ社と英国 Vpress 社との戦略的パートナーシップ提携です。『North Print & Pack』展会期中の 5 月 14 日、コニカミノルタ社は、Vpress 社が開発したクラウドベースの Web to Print (= W2P) システム《Coreprint》を、まず英国に限り同社の顧客に提供する、と発表しました。加えて、この戦略的な連携が同社の《デジタル 1234》ビジネス展開にも資する、としています。

2002 年に創業した Flyeralarm（フライヤー・アラーム）社も注目です。同社は初め、印刷をウェブで受注し、提携の印刷会社へ実際の印刷を依頼するビジネス手法をとってしまし

たが、設立わずか数年後には印刷機械を購入、それからはウェブで受注した案件を購入した自社の印刷機械で印刷する形をとり、成功を収めています。また、Bechtle Verlag & Druckの子会社 Bechtle Druck & Service（ベヒトレ印刷サービス）社は、ビジネス拡大の一手としてオンラインショップを構築、受注はもとよりマーケティングにも有効活用しています。

W2P において将来性の高いアプリケーションは、スマートフォン向けです。多くの技術者に読まれる独週刊紙『VDI ニュース』によると、印刷用データを電子メールでスマートフォンから送信、そしてクラウドで管理する、というゼロックス社が提供する両ソリューションが、ともに好評を博しているとのこと。また、HP 社は今秋「Flow CM Pro ソリューション」を導入すると発表しています。

出典：2013 年 5 月 17 日付 VDI-Nachrichten 誌

2013 年 5 月 16 日付 digitalprinter サイト、2013 年 5 月 15 日付 Printweek 誌

2013 年 5 月 30 日付・4 月 25 日付 Print.de サイト

トレンド 2：コンテンツのデジタル化とメディア業界の新戦略

インターネットの普及により、メディアに対する考え方に変化が見られるなか、出版社、新聞社などのメディア企業がどう対応するかは、その企業の存続にも影響を与えるもっとも重要なポイントであると言っても過言ではありません。ドイツはもとより、在欧メディア企業がとっている対策のひとつは、ただニュースを提供する企業から、多チャンネルを駆使したナレッジプロバイダへと脱皮することです。ビジネス手法が日本経済新聞社と似ている Handelsblatt（ハンデルスブラット）グループは、スマートフォン向けアプリを導入するとともに研究所も設立、会議・イベント開催にも力を入れるなど、ビジネス拡大に注力しています。ベルテルスマン・グループに属する Gruner+Jahr（グルーナー・ヤール）社は、本年 4 月に取締役の構成と任務を変更、事業ごとに担当を決定するなど、戦略を転換してきています。

従来どおりの方法を根幹とする企業では、情報提供の有料化を視野に入れ、戦略を展開している事例が少なくありません。これまで無料提供していた情報をどこまで有料にするかは各社まちまちですが、基本的な情報を無料にし、より細かい情報、写真などを有料にするハイブリッド・モデルがもっとも普及するよう思われます。他方、全く異なるアプローチもあります。朝日新聞社と提携し、日本で情報を無料提供する米国メディア、THE HUFFINGTON POST（ハフィントン・ポスト <http://www.huffingtonpost.jp/>）は、ドイツでは Focus 誌との提携を発表、今年中に THE HUFFINGTON POST ドイツ版がスタートすると報道されました。同社の特徴は、情報を完全に無料提供しているため収入は広告に限られ、よってコスト削減の観点から自社で雇用しているジャーナリストが少なく、発信する情報の多くが「無給で貢献してくれる」ブログなどをもとにしている、という点です。ドイツの媒体は一般的にテーマ・専門性が強く、近い将来競合相手になる THE HUFFINGTON POST の「メディアとしての質」を問う声が、スタート前から強くあがっています。

電子媒体に目をうつすと、電子書籍の販売数がますます伸びており、ドイツではインターネットで注文される本の 10%を占めます。マーケットシェアがもっとも高い企業はアマゾンですが、同社のキンドルに対抗すべく、書店チェーン独最大手 4 社がドイツテレコムと提携し電子書籍端末「Tolino」を開発、各書店が対応のコンテンツを販売します。サービススタート時には 30 万ものタイトルが用意され、書物の千姿万態も保障されていますが、普及のカギは、キンドルから別のシステムに変えたいという旺盛な意欲を消費者が持てるかどうかでしょう。

出典：2013 年 5 月 27 日付 *Wirtschaftswoche* 誌
2013 年 5 月 7 日付 *Süddeutsche Zeitung* 誌
2013 年 4 月 29 日付・4 月 11 日付・3 月 2 日付 *FAZ* 誌
2013 年 2 月 25 日付 *Werben&Verkaufen* 誌

第 2 部：産業・企業ニュース

ドイツ印刷機械メーカー：新たな協力関係？

印刷機械メーカーは、印刷業界が直面する危機の影響を引き続き受けています。2013 年度の受注が伸び悩んでいることもあり、業績赤字や事業分野再編といったニュースが紙面ににぎわっています。特に話題になっているのは、大手間の新たな協力関係です。多くの新聞が、ハイデルベルグ社や KBA 社の、大手間の協力関係について「考えていない訳ではない」、「何もかも我々でやる必要がない」という種の発言を掲載しています。なかでも *FAZ* 誌とのインタビューにおいて、ハイデルベルグのリンツバッハ社長は「KBA 社と協力関係について相談したことがある」、KBA 社のカウフマン CFO は、「ある分野において旧マンローランドの後継社との協力の可能性を否定しない」と話しています。

協力関係を構築する以外にも、業績改善策はあります。KBA 社は、2013 年第 1 四半期に売上・受注とも低迷したため、成長が見込める事業分野を拡大する策として、フィルム印刷専門会社 *Flexotecnica*（フレキシテクニカ）社を買収したことが報道されています。

出典：2013 年 5 月 15 日付・5 月 11 日付・5 月 6 日付・3 月 2 日付 *FAZ* 誌

ハイデルベルグ社は、損失を半分に

ハイデルベルグ社は、2012 年度（2012 年 4 月～2013 年 3 月）の損失を、対前年度比で半分にまで減少させることに成功、今年度（～2014 年 3 月）については利益を生み出せるとの見通しを発表しました。

出典：2013 年 5 月 8 日付 *Süddeutsche Zeitung* 誌

ゼロックスは買収を継続

米国のデジタル印刷機械大手ゼロックス社は、ビジネス拡大にあたり、drupa 2012 に出展していたインクジェットシステムを提供する仏企業 Impika 社を買収しました。

出典：2013年2月2日付 Print.de サイト

第3部：メッセ情報

drupa 新統括部長 ゲルダーマン来日決定！！

来る10月初旬、[JGAS 2013](#) 会期に合わせ、新たに drupa 統括部長に就任したゲルダーマン (Ms. Geldermann) の来日が決定しました。業界専門見本市 JGAS 2013 の視察はもとより、関係企業・団体へのごあいさつ、そして欧州の業界動向を発信するイベントなど、精力的に活動する予定です。



PRINT & PUBLISHING Schweiz 2013 が開催中止に

主催者である Easy Fairs Switzerland 社は、本年10月にスイス・チューリッヒで予定されていた同展の開催を見合わせると発表しました。今後、印刷関連については、同社が主催する別の見本市の1部門として組み込んでいくとのことです。




第1回 Functional Printing China は盛況裡に終了

China Print 2013 会期第3日目の5月16日(木)、中国印刷産業機械協会 (PEIAC) とメッセ・デュッセルドルフ上海が強力タッグを組み、《Functional Printing China – 中国機能性印刷技術会議》を初めて開催、350を超える業界関係者が出席し、活発な意見交換がなされました。同会議は次回、『All in Print China 2014』の併催イベントとして、通常の会議プログラムに加え、関連技術をアピールできる展示エリアも設けるなど、さらなる拡充を目指します。

All in Print China 2014 出展募集スタート！！

印刷・メディア業界を代表する《drupa》を主催するメッセ・デュッセルドルフが、巨大市場中国・上海で2004年から開催している『All in Print China』は、中国、そして周辺諸国をリードする業界メッセのひとつです。10周年の節目を迎える今回は、2014年11月14日～17日に開催予定で、すでに出展募集がスタートしています。ご関心のあるかたは、お早めに弊社へご相談ください。





欧州印刷業界 NEWS 2013 年 2 号は、いかがだったでしょうか？ご意見やご要望をお聞かせいただけましたら幸いです。

【発行】(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

【編集 担当】メルケ・橋木【メッセ担当】橋木

info@messe-dus.co.jp / www.messe-dus.co.jp / <http://drupa.messe-dus.co.jp>

「欧州印刷業界 NEWS」ご不要の方は、恐縮ですが「欧州印刷業界 NEWS 送信不要」と info@messe-dus.co.jp へご連絡をお願い致します。本ニュースレターの掲載情報は発行日現在のものであり、予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

